

令和4年度 ほっとけん！アワードエントリー行事

資料2

団体名	行事名（参加人数）	アピールポイント	合計点数 (900点満点)
玉島小学校区こども会育成 連絡協議	ソフトボール・キックベース 玉島校区大会 (100人)	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の準備に当たり、子どもたちには「自分で出来る事は自分でやろう」「一人で出来ない事はみんなでやろう」「子どもだけで出来ない事は大人に手伝ってもらおう」といった行動の方向性を持たせ、大人は先回りせず、子どもたちの自主的行動を待った。 ・子どもたちと相談し、低学年や未就学児も一緒に楽しめるルールづくりなど、子どもたちからの提案を取り入れ、また、子どもたちの発案でオンライン会議を実施し意見交換ができた。 ・大会当日は審判員として地域の方々に協力をいただいたほか、練習期間を通じて、保護者、スポーツ団体、地域団体等、多くの方に参加いただき、コロナ禍で希薄になっていた地域のつながりを復活させる事ができた。 	784
東中学校区青少年健全育成 運動協議会	東中校区フェスタ (150人)	<ul style="list-style-type: none"> ・企画段階から生徒が内容に携わり、中学生と大人で事前打ち合わせを行った。当日のアトラクションコーナーは中学生が運営し、来場した小学生や未就学児が楽しめるよう考えて遊び方を指導してくれた。大人は安全を見守る立場で配置した。 ・大阪産業大学の協力のもと、小学生以下の子どもを対象に木製電気自動車試乗会を取り入れ、環境意識向上を図ることができた。 ・中学生と地域の大人が一緒に行事をすることによって、顔見知りとなり、声をかけあう関係づくりができた。 	780
彩都西小学校区青少年健全 育成運動協議会	「弁当の日」講演会 (200人)	<ul style="list-style-type: none"> ・食について考え、家族等との絆を深めてもらうため、きっかけとなる映画鑑賞と講演会を企画。講演会の内容について子どもたちのアンケートを取り入れた。 ・当日の会場設営は大人と子どもで協力して行った。また、講演会に参加した多くの子どもが大人のを借りずに家庭で家族の弁当をつくり楽しんでくれた。 ・共同開催に力を貸していただける地域組織と話し合い、運営に力添えをいただくなど、縦割りでない横のつながりも得て、当行事を開催することができた。 	686

ほっとけん！アワード エントリーシート

令和4年10月1日

団体名： 玉島小学校区こども会育成連絡協議会	
行事の概要 行事名：ソフトボール・キックベース玉島校区大会 参加人数 100人	
日 時：令和4年6月18日（土） 8：00 ～ 13：00	継続期間（第41回） （※コロナによる中断2回）
目 的： 青少年健全育成運動重点目標「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」の実現をめざし、「歴史ある校区大会」を通じて、コロナ禍においても地域とのつながりを感じたり、周囲への感謝の気持ちや思いやり等をもってもらえるような交流イベントを実施する。	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	より多くのこどもたちに参加してもらえるよう、低学年や未就学児でも一緒に楽しめる「競技方法」や「ルール」を相談した。
青少年の希望を取り入れたか	こどもたちが ①各チームが接戦になるようなチーム分けをした ②選手宣誓の文章を考えた ③参加賞の内容を考えた
青少年の役割	練習期間を通じて ①道具の準備をした ②コート設営をした ③上級生が下級生のお世話や指導をした ④自分たちだけではできない事を大人に相談して一緒にやった
青少年への指導と助言	①自分で出来る事は自分でやろう ②一人で出来ない事はみんなで作ろう ③こどもだけで出来ない事は大人に手伝ってもらおう

アピールポイント

①大会当日は審判員として地域の方々に協力をいただいたほか、練習期間を通じて、保護者、スポーツ団体、地域団体の方々に、たくさん参加していただけたので、コロナ禍で希薄になっていた「地域のつながり」を復活させる事ができた。

②こどもたちの発案で「オンライン会議」を実施して「活発な意見交換」ができた。

苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等
 コロナ禍での実施となったので

①検温、手指消毒、参加者名簿の管理を実施した
 ②集まって会議ができないのでオンライン会議を実施した
 ③地域の各団体に実施の趣旨の説明をした
 ④大人が「先回り」せず、こどもたちの「自主的行動」を辛抱強く待った



①写真タイトル：表彰式



②写真タイトル：開会式



③写真タイトル：おもいきりけったった！



④写真タイトル：ご来賓のみなさま



⑤写真タイトル：中学生も一緒に練習



⑥写真タイトル：参加してくれたおチビちゃんたち

ほっとけん！アワード エントリーシート

令和4年10月3日

団体名： 東中学校区青少年健全育成運動協議会
行事の概要 行事名： 東中校区フェスタ 参加人数 150人（コロナ前は500人）
日時：令和3年10月16日（土） 9：30 ～ 11：30 継続期間（第10回）
目的： 青少年健全育成運動重点目標「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」の実現を目指し、サッカーボウリング等各種アトラクションや展示を通じて、子どもたちと地域住民とのつながりを深め、中学校と校区地域が継続して子どもたちを見守ることが出来る体制強化を目的とした。

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	当日のアトラクション運営は中学生が主な担い手となるため、学校側とも連携し、企画段階から生徒が内容に携わると共に、安全かつ円滑に実施できるようにした
青少年の希望を取り入れたか	中学生がアトラクション運営に対し、意欲的・能動的に動いてもらうことを目的として、アトラクション内容について生徒の意見を参考にしながら決定した
青少年の役割	<ul style="list-style-type: none">・アトラクションに参加する地域の子どもたちが、安全に楽しむことができるようアトラクション運営をおこなう・校区フェスタ来場者の受付等の事務局補助を地域の大人たちと協力しておこなう
青少年への指導と助言	<ul style="list-style-type: none">・アトラクション運営について、大人が最小限の指導を行ったうえで生徒に任せているものの、危険行為の有無等、大人が常時チェックとサポートをおこなう

アピールポイント
<ul style="list-style-type: none">・アトラクションについて、体を動かすものや工作物等、参加者と協力しながら作成する内容とすることにより、参加者と自然に会話がはずみ、子どもたちと大人のつながりを深めることができた。・教職員を通じて大阪産業大学の協力のもと、小学生以下の子どもたちを対象に、間伐材を使用した木製電気自動車試乗会を取り入れた。子どもたちにとっては、乗車体験を通じて、環境への意識向上を図ることが出来、来場者にも好評であった。・大人が少なくなる日中において災害が発生した時でも、中学生が自発的に行動できるよう、校区内自主防災会の協力のもと防災アトラクションを行い、防災意識の向上に繋がった。
苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍中での開催となるため、感染対策の徹底を図った。また、コロナ前は来場した子どもたちやスタッフに振舞うカレー作りを中学生と大人が協力して作っていたが、感染予防のため中止することについて、地域の皆様のご理解・ご協力を得ることとした



①写真タイトル：生徒が運営を担うアトラクション①



②写真タイトル：生徒が運営を担うアトラクション②



③写真タイトル：地域の子もたちとの交流も進みます



④写真タイトル：木製電気自動車試乗会



⑤写真タイトル：青指の皆様も参加頂いてます



⑥写真タイトル：自主防災会のアトラクション（消火器体験）

茨木市立東中学校区
青健ネット事務局
TEL692-8414 FAX698-2677

第31号
令和3（2021）年9月28日発行

～地域と中学校がなごろう～

校区フェスタ

茨木市立東中学校 運動場・体育館

10/16（土）9:30～12:00

環境に優しい「木製電気自動車」に乗ってみよう！

「木製電気自動車」は、ボディ・シャーシに三重県尾鷲（おわせ）の山のヒノキの屑材を使用しています。削伐とは、森林の成長過程で密生化する立木を間引く管理のことで、森林の保全につながっています。電気自動車のため、走行中に二酸化炭素が発生しない環境に優しい低公害車でもあります。天井にはソーラーパネルを搭載しており、走行中には太陽光で発電することもできます。公道も走行でき、最大4人乗ることができ、ヒノキの香り漂う「木製電気自動車」をぜひぜひ見に来てみてください。小学生は試乗できますよ！（未来創造研究室）

東中校区フェスタ 木製電気自動車試乗

ひきかえけん引券交換券

ひきかえけん引券

小学生 年 級

ひきかえ

でんわ

受付開始9:30 10月16日（土）当日限り有効
先着50名（定員にひきかえけん引券を付した）
★切り替えて受付にお持ちください ★小学生に限りません

当日朝7時の時点で茨木市に暴風警報・特別警報（大雨・暴風）が発令されたら中止です。また、新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止になる場合があります。（東中ホームページにて案内します）

小学生限定！先着50名！
試乗できるのは小学生に限ります。右の引き換え券に必要事項を記入の上、点線で切り取り、東中校区門前近の受付へご持参ください。「試乗券」と交換いたします。受付開始時間 9:30

先着50名 定員になり次第、受付終了します。

- 電気自動車の試乗は、小学生に限らせていただきます。
- ただし、アトラクションコーナーは幼児も参加できます。
- 小学校低学年・幼児は、必ず保護者同伴でお越しください。
- 上靴（スリッパ）をご持参ください。
- マスクの着用・検温・手洗いの消毒に協力ください。
- 体調のすぐれない時は参加をお控えください。
- 天候不順の場合は、体面図で発行します。（その場合、アトラクションコーナーは中止）

⑦写真タイトル：開催案内（青健ネットニュース）

ほっとけん！アワード エントリーシート

令和4年10月3日

団体名： 彩都西小学校区青少年健全育成運動協議会
行事の概要 行事名： 「弁当の日」講演会 参加人数 約200人
日時：講演会 令和3年11月26日（金）●4年生児童対象＝授業中、保護者対象＝15時30分～17時 映画鑑賞 令和3年12月22日（水）10時～12時 継続期間 第1回
目的：コロナ禍で人との関わりが少なくなる中、青少年に、自分の家族やきょうだいなど身近な人とともに「食」について考え、一緒に食卓を囲み、おしゃべりをして楽しみ、絆を深めていって欲しいと考えました。そのきっかけとなる映画鑑賞と講演会を企画しました。 小学校区の人権啓発推進委員会、コミセン管理運営委員会とともに企画・開催し、講演会当日は彩都西小学校PTAをはじめ、彩都西中学校区青少年指導員会のメンバーが会場運営に協力してくださいました。青少年だけでなく、地域の方々も同じテーマで「食」と「絆」について考えるきっかけとなるイベントとして実施しました。

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	コロナ禍のため、感染防止に努め、対面での相談や協議ではなく、講演会の内容について児童たちにアンケートを取る方法に替える工夫を取り入れました。
青少年の希望を取り入れたか	数ある竹下氏の講演会のテーマの中から興味のあるテーマを児童たちが決めました。
青少年の役割	<ul style="list-style-type: none">・当日の会場設営を大人とともにやる・講演後に感想文を作成する・「考えるきっかけ」として弁当作りに挑戦する <p>（学校を通じて「大人の力を借りずにお弁当を作ってみよう」とアナウンスいただきました。実際に子どもたちは自分でお弁当を作り、家族で食卓を囲みました。）</p>
青少年への指導と助言	講演会后、子どもたちが感想文を書くにあたり、「食」や「絆」について子どもたちそれぞれの考えがあり、また「人を想う気持ち」も様々であることを伝え、自分の思いを書いて欲しい旨を助言しました。

アピールポイント：

- ・人権啓発推進委員会、コミセン管理運営委員会、青少年健全育成運動協議会と3つの組織の共同作業でこのイベントは実現しました。実現に大きく役立ったのは「地域自治組織」（彩都ではこの組織を「まち協」と呼んでいます）の存在でした。
青健協も「まち協」の構成団体です。そのため共同開催に力を貸してくれる組織への話し合いや運営に関しての力添えなど、組織の縦割りではなく横のつながりで開催することができました。
彩都地区にあるさまざまな組織は歴史も浅く、経験も多くありません。その中で地域の方々がまさに「手弁当」で協力してくれました。

苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等：

- ・青健協のこのイベント以降、地域組織の横のつながりで開催するイベントが彩都地区では増えてきました。例えば自主防災会主催の防災訓練とともにまち協主催の秋まつりが開催され、そのポスターを放課後子ども教室に参加の児童が描く、といった具合に。
- ・コロナで人との関わりが制限され規制されている今だからこそ、子どもたちがまちづくりに参加できるように考えるのが大人の役目です。

ほっとけん！アワード 団体名（ 彩都西小学校区青少年健全育成運動協議会 ） 行事名（ 「弁当の日」講演会 ）



①写真タイトル：開催告知ポスター



②写真タイトル：開催告知らし



③写真タイトル：講演会当日のようす



コミセン・2021/11/21

「弁当の日」提唱者の竹下和男さん講演会と映画上映のお知らせ

彩都西コミュニティセンター管理運営委員会・彩都西小学校区青少年健全育成運動協議会からののお知らせです。

「弁当の日」提唱者の竹下和男さん講演会と映画上映を行います。
事前登録などの必要はありませんので、お気軽にお越しください。

④写真タイトル：関係団体による、ホームページでの周知